

2008年1月24日

受益者の皆様へ

安田投信投資顧問株式会社

「チャイナ・ディスカバリー・ファンド」(愛称：神龍)の基準価額変動について

一昨日の1月22日の香港市場の下落を受け、1月23日の掲題ファンドの基準価額が前日比5%を超える値下がりとなりましたので、その要因と市場環境につきまして、以下ご報告致します。

<ファンドの騰落率>

ファンド名	基準価額(円)		前日比(円)	騰落率(%)
	1月22日	1月23日		
チャイナ・ディスカバリー・ファンド (愛称:神龍)	12,818	11,589	-1,229	-9.59%

アジア株式市場の主要株価指数の騰落率(1月21日と22日の比較)と市場動向

(出所：ブルームバーグのデータより)

関連主要株価指数	騰落率(%)	騰落率(%)
	(現地通貨 ^h - ^s)	(円 ^h - ^s)
香港ハンセン指数	-8.65%	-7.96%
ハンセン中国企業株指数(H株)	-11.97%	-11.30%
ハンセン中国レッドチップ指数	-8.64%	-7.95%

香港株式市場は、前週末の米国市場の下落と、米国の緊急景気対策への失望感を受けて売りが膨らみました。また、中国四大銀行の1行である中国銀行がサブプライム・ローン関連で巨額の損失を計上するとの見通しが伝えられたことも悪材料となった結果、香港ハンセン指数・H株指数・レッドチップ指数は大きく下落しました。

現在のアジア株式市場の状況は、米国のサブプライム・ローン問題や米国景気後退懸念に大きく影響されていると思われます。ハンセン市場では優良株まで過度に売られているものと思われ、市場は値を下げ過ぎていると見られます。

昨日1月23日は香港金融当局が米緊急利下げに追随し、利下げを実施したことが好感され、

*当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補充書面を含む。)をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。

香港株式相場は大きく反発し、香港ハンセン指数は大幅な上昇率を記録し前日比2,332.54ポイント（現地通貨ベース+10.72%）高の24,090.17、ハンセン中国企業株指数（H株）は前日比1,367.62ポイント高（同、+11.48%）の13,279.53、ハンセン中国レッドチップ指数は前日比498.17（+10.53%）高の5,229.87となっております。銀行株と不動産銘柄が高値をつけ、また「手持ち資金を持つ投資家が、最近の急落を受けて押し目買いを入れた」と一部の金融関係者からの指摘も報道されております。

中産階級の成長に伴う国内消費の拡大と、高い輸出競争力を背景とし、中国の成長性に対する評価に変わりはありません。サブプライム・ローン問題に端を発する米国景気後退の懸念がこの先も市場にて繰り返し報道され、市場が適宜反応することも考えられますが、中長期的には中国株式市場の成長性は衰えていないと見ています。

以上

* 当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。* 当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補充書面を含む。）をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。* 当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。